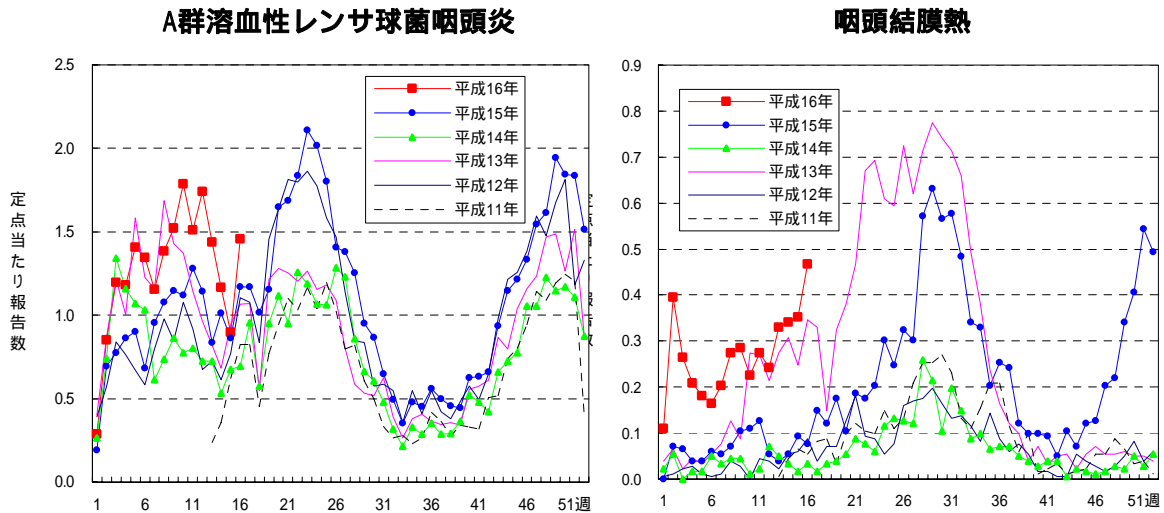
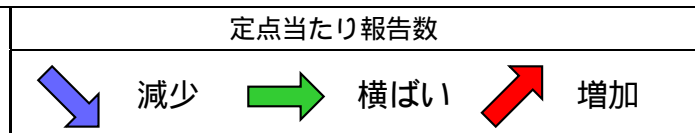


### 流行状況



疾患名	前週	今週	備考
<b>A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</b>	0.9 ↓	1.5 ↑	レンサ球菌のうち血清型分類のA群に分類されるものによる上気道感染症
<b>水痘</b>	1.7 →	1.5 →	「みずぼうそう」とも呼ばれ、ウイルスが原因で発生する人から人にうつる感染症
<b>咽頭結膜熱</b>	0.35 →	0.47 ↑	発熱・咽頭炎・結膜炎を主症状とする急性のアデノウィルス感染症
<b>伝染性紅斑</b>	0.42 ↓	0.56 ↑	リンゴ病のこと。両側頬の蝶形紅斑、腕、脚レース様紅斑をきたす。



(関連リンク)

愛知県感染症情報 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>)

予防接種について ([http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/yobou\\_week.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/yobou_week.html))

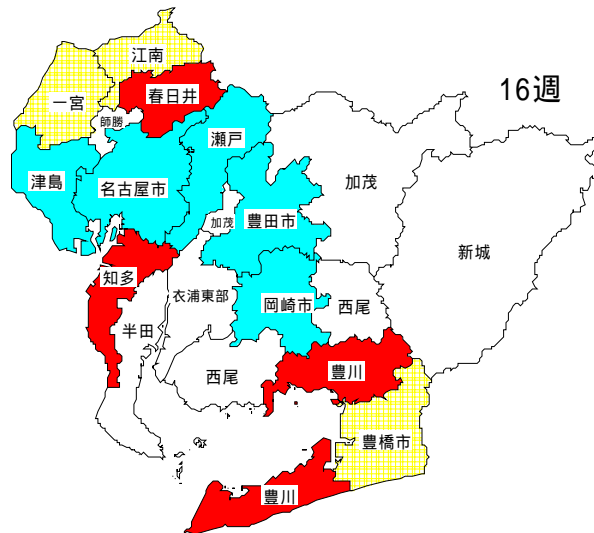
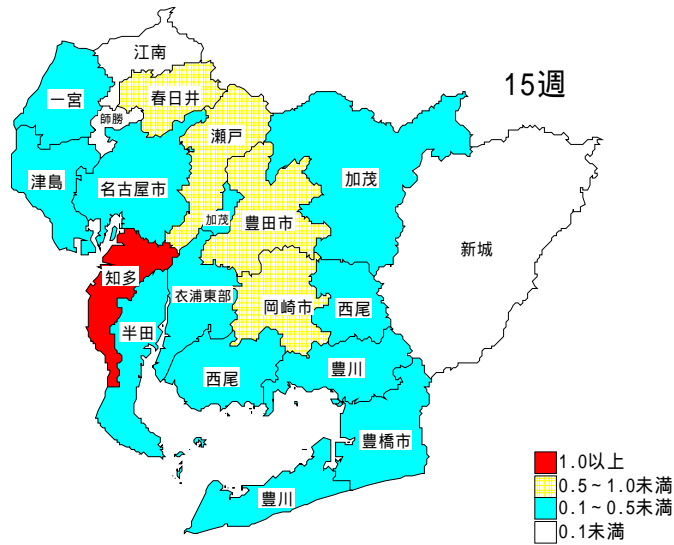
風疹について (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/huusin.html>)

全国状況(感染症発生動向調査週報): 厚生労働省感染症研究所感染症情報センター - ホームページ (<http://idsc.nih.go.jp/kanja/index-j.html>) をご覧下さい。

(作成)

愛知県感染症情報センター 連絡先: 052-910-5619 E-mail: [eiseiken@pref.aichi.lg.jp](mailto:eiseiken@pref.aichi.lg.jp)

# 咽頭結膜熱の保健所別報告数の推移(名古屋市含む)



	16週	定点 当たり	15週	定点 当たり		16週	定点 当たり	15週	定点 当たり
名古屋市	29	0.41	17	0.24	岡崎市	3	0.43	4	0.57
瀬戸	2	0.22	6	0.67	衣浦東部	1	0.09	5	0.45
津島	1	0.14	2	0.29	西尾	0	0.00	1	0.20
師勝	0	0.00	0	0.00	豊田市	2	0.25	5	0.63
一宮	7	0.58	3	0.25	加茂	0	0.00	1	0.33
春日井	12	1.33	6	0.67	豊橋市	5	0.63	3	0.38
江南	5	0.83	0	0.00	豊川	11	1.38	2	0.25
半田	0	0.00	1	0.17	新城	0	0.00	0	0.00
知多	7	1.00	8	1.14					

○ は今週警報が出ている保健所(市)です。

厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによる咽頭結膜熱の流行発生警報は保健所(市)定点当たり1.0人を越えた場合に発生し、0.1人を下回るまで継続します。警報の意味は大きな流行が発生または継続しつつあることが疑われるということです。

## 定点の先生方からのコメント

### 尾張西部地区

5歳女 マイコプラズマ肺炎  
【一宮市 あさのこどもクリニック】  
病原性大腸菌O1 4歳男  
病原性大腸菌O18 1歳女、11歳女  
病原性大腸菌O11 2歳女  
エンテロウイルス感染症が非常に多く、発熱、胃腸症状と症状が多彩です。

【尾西市 城後小児科】

アデノウイルス散発発生  
【稲沢市 稲沢市民病院】

カンピロバクター1人 4歳男  
仮性クループ\*が目立ってきました。  
麻疹 2歳女(ワクチン接種済み)  
暖かくなって、胃腸炎は激減しました。  
溶連菌も3月末には、ほぼなくなりました。

【犬山市 武内医院】

\* クループ(症状)

上気道および下気道の急性ウィルス性炎症で、声がかれたり、息を吸うときゼ-ゼ-したりします。犬が吠えるような独特の咳がでることもあります。

アデノウイルス感染症 2名  
伝染性紅斑 2名  
溶連菌感染症、感染性胃腸炎 少なくなりました。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

ロタ陽性の胃腸炎散発  
腸管アデノの例も1例あり  
百日咳 1例  
溶連菌も散発  
その他、原因不明の4~5日発熱、咳の例が目立ちます。(RSV(-)、Adeno(-)、インフル(-))

B型インフルエンザ6例ありました(タミフル効きにくいようです)。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

66歳男 B型インフルエンザ

【師勝町 田中クリニック】

水痘罹患の中2名(6歳女、3歳男)ワクチン接種済み

9歳男、11歳男 マイコプラズマ感染症

【春日町 丹羽医院】

### 尾張東部地区

溶連菌感染症、アデノウイルス感染症、マイコプラズマ感染症(肺炎6歳女、2歳男)が多く見られます。

【瀬戸市 津田こどもクリニック】

マイコプラズマ感染症が少し目立ちます。

水痘流行あり。

乳児の下痢症やや多くみられます。

その他、流行性耳下腺炎、伝染性紅斑散発  
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

5歳の百日咳(DPT未接種)

ムンプス流行続いています。

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

溶連菌、伝染性紅斑がまだ多いです。

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】

ロタウイルス胃腸炎やや減少

インフルエンザ散発(すべてB型)

【小牧市 小牧市民病院】

1歳女2名、2歳女、3歳男2名、3歳女、4歳男、4歳女2名 扁桃炎 咽頭炎

【美浜町 愛知県厚生連知多厚生病院】

B型インフルエンザ徐々にでました。

【大府市 まえはらこどもクリニック】

## 西三河地区

1歳男2名 エスプラインインフルA/B(B+)  
2歳男、3歳男 イムノカードSTアデノウイルス(+)  
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】  
11ヵ月男 病原性大腸菌O1  
【豊田市 すくすくこどもクリニック】  
3歳男、5歳男、6歳女 アデノウイルス(+)  
3歳男 サルモネラO3,10群  
【岡崎市 花田こどもクリニック】  
2歳男 病原性大腸菌O111  
4歳女 滲出性扁桃炎 アデノウイルス(+)  
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】  
滲出性扁桃炎(アデノ+)1例  
【刈谷市 田和小児科医院】

インフルエンザB 2歳1名  
【知立市 宮谷クリニック】  
ロタウイルスによる下痢が続いています。  
【西尾市 やすい小児科】  
カンピロバクター、病原性大腸菌O18 VT(-) 10歳男  
病原性大腸菌O6 VT(-) 4歳女  
アデノウイルス腸炎 3ヵ月男  
アデノウイルス感染症、伝染性紅斑が流行中  
【幸田町 とみた小児科】  
<15週分の追加コメント>  
伝染性紅斑時々あり  
【碧南市 永井小児クリニック】

## 東三河地区

流行性耳下腺炎流行中  
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】  
インフルエンザB 1歳~9歳に散発あり。  
【豊橋市 野村小児科】

12歳男 カンピロバクター腸炎  
【蒲郡市 蒲郡市民病院】

## 一 ~ 三類感染症の発生状況

- 愛知県(名古屋市を除く。) -

細菌性赤痢

番号	報告 保健所	年齢	性別	発病 月日	初診 月日	診定 月日	菌型等	備考
1	岡崎市	30	女		4/14	4/16		推定感染地域 インドネシア

## 四類・五類(全数把握)感染症の発生状況

- 愛知県(名古屋市を除く。) -

ウイルス性肝炎 1例 B型(推定感染経路:性的接触)  
急性脳炎 1例 (病原体不明:54歳)

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

狭い庭で孫たちが鬼ごっこをして植木鉢をひっくりかえしたり、芽が伸びはじめた草花を踏みつけたりしていきました。どうも犬や子供と庭づくりは両立しないようです。ところでいつも貴重な情報を有難うございます。4月前半のまとめをお送りします。

- 1) 名古屋市内：名鉄病院福田先生からはロタウイルスを含む感染性胃腸炎と咽頭結膜熱が多く、重症例の入院も目立ち、マイコプラズマ肺炎の入院はコンスタントにあり、第一日赤松山先生からは水痘3例、溶連菌感染症1例、麻疹1例、嘔吐下痢を伴う胃腸炎10例入院、城北病院渡辺先生からはアデノ陰性のインフルエンザ様疾患がまだ多く（発熱が主体）急性胃腸炎やや減少、全体に外来患者減少、第二日赤岩佐先生からはアデノウイルス感染症散発、三菱病院入山先生からは感染性胃腸炎9名と目立ち（病原性大腸菌O18、O1、O6、黄色ブドウ菌など。2名入院）B型インフルエンザ4名（2兄弟例、気管支炎、肺炎、脱水合併で入院）ムンプス1名、肺炎の入院8名、中京病院柴田先生からはムンプスが少しあり、労災病院山田先生からはロタ腸炎（入院が多い）溶連菌感染症（入院目立つ）アデノウイルスによる扁桃炎（入院目立つ）水痘、大同病院水野先生からは風疹増加、肝機能障害を呈する例もあり、伝染性紅斑や溶連菌感染症など発疹を主症状とする疾患が多く、ロタウイルスによる痙攣で入院する児が続き、一時期減っていた急性胃腸炎がまた増加しているとのお手紙でした。
- 2) 尾張地区：犬山市武内先生からは感染性胃腸炎、水痘、ムンプスがそれぞれ散発中、常滑市民病院上田先生からは突発性発疹、咽頭結膜熱、溶連菌感染症、ロタウイルスを含む感染性胃腸炎（入院目立つ）水痘、半田市民病院小児科からは感冒性胃腸炎がパラパラあり、ロタウイルス陰性、とのお手紙でした。
- 3) 三河地区：トヨタ病院木戸先生からはムンプス、喘息、川崎病が目立つ、加茂病院梶田先生からは胃腸炎が目立ち入院例も多く、ロタウイルス陽性が多い、アデノウイルス感染症は減少、インフルエンザBが少数、Aは消失、知立市近藤先生からは高熱の咽頭炎が多く2例はアデノ陽性、ムンプスがパラパラ、溶連菌感染症もパラパラ、急性肺炎の入院1例、刈谷市田和先生からはムンプスが流行中で水痘が散発、アデノ（+）の急性扁桃炎が時々あり、碧南市永井先生からは伝染性紅斑と溶連菌感染症が時々あり、豊橋市からはB型インフルエンザ、溶連菌感染症、細気管支炎が目立つ（市内長屋先生、宮澤先生）とのお手紙でした。有難うございました。

## 2004 年 3 月 26 日(79 巻 13 号)

ポリオ根絶。インド。03 年におけるインドのポリオの状況: 従来北部インドのウタル・プラディシュ州とビハール州に発生報告が集中していたが、根絶計画の進展で発生数・野生株陽性例数が減少、本報は最近の状況のまとめである。急性弛緩性麻痺(Acute Flaccid Paralysis, AFP): 02 年 / 03 年ではインド全体で 9,705 例の報告があり、ウタル・プラディシュ(UP)州が 3,515 例 / 2,027 例、ビハール(BH)州で 874 例 / 828 例となっている。ポリオ野生株陽性者: 02 / 03 年でインド全体で 1,600 例 / 225 例、UP 州 1,242 例 / 88 例、BH 州 121 / 18 例と減少した。90%がポリオ 1 型(遺伝的に同一)、10%が 3 型(UP 州の少数民族)。一方、03 年に南インド 3 州で 3 型の発生が報告されている(地図あり)。ワクチン接種率: 1 歳以前に定期接種で 3 回接種完了児はインド全体で 68%、州別の差が大きく BH 州では 21%、マディア・プラディシュ州では 99%であり、UP 州で 41%となっている。これと同時に 99 年から全国規模で年 2 回、集中地区では年 4 回戸別訪問による 5 歳以下の児を対象とした一斉ワクチン接種日(National Immunization Days, NIDs)が実施され、毎回 6 千 ~ 7 千万名の小児が接種した。全体として根絶計画はインドでも進捗中である。

結核。04 年 3 月の総説: WHO の推定では地球規模で全結核患者 8,797 例(うち 33%が東南アジア、26%がアフリカ、24%が西太平洋地区)、塗抹菌陽生者が 3,887 例、人口 10 万当りの塗抹菌陽生者は世界全体で 63 例(アフリカ 149 例、東南アジア 81 例、東地中海と西太平洋地域 55 例が目立つ)。結核による死亡は 1,823 例(人口 10 万あたり 29 例(アフリカと東南アジアが多い)。緊急の問題として HIV 感染者、薬剤耐性、難民と移住者の結核対策、現在最も有効な対策として DOTS(薬剤をまとめて渡さず担当者が直接内服させる方法)の普及などがあげられている。

3 月 19 日 - 25 日届出。コレラ: ベニン、マラウイ、マリ、ザンビア、マレ - シア。

## 2004 年 4 月 2 日(79 巻 14 号)

デング熱。インドネシア: 保健省発表。1 月 1 日 - 3 月 22 日で 40,337 例(死亡 507)、ジャバとジャカルタが主体。増加中。当局は蚊対策(殺虫剤散布と空缶対策など環境整備)で対処、WHO はウイルス検査などを支援している。

髄膜炎菌髄膜炎。ブルキナファソ: 同国保健省発表。1 月 1 日 - 3 月 21 日で 2,783 例(死亡 527)、4 地区で流行中。血清型 A / W135。ワクチン緊急接種準備中。

髄膜炎菌髄膜炎。ナイジェリア: 3 月 26 日の保健省の発表では 327 例(死亡 6)が発病し現在血清型の検索とワクチン準備、ユニセフがクロラムフェニコ - ル供給準備中。

麻疹ワクチン。WHO は各種のワクチンに関する基本的情報、指針を専門家の助言のもとに定期的に提供している。今回は麻疹ワクチンに関する膨大な総説。臨床像などに関する説明は省略して麻疹ワクチンの

問題点をまとめる。 ワクチン株による差はあるか。ボストン、レニングラード、大阪、さらにザグレブ(旧ユーゴ)、東京、中国など各国で麻疹ワクチンが開発されたが安全性、有効性ともに基本的には差はない。全て弱毒生ワクチンで遺伝学的にも共通性が多く安定。風疹ワクチンと混合(MR)、風疹・ムンプスと混合(MMR)した場合も単独とかわらない。 ワクチン製造:鶏胎児細胞初代培養か人二倍体細胞の低温(32℃)培養でワクチンウイルスを増殖。鶏由来の他のウイルスの混入などは厳密にチェックされていて安全性は高い。 ワクチンの特性:温度感受性。-70℃ ~ -20℃ で非常に安定、凍結乾燥品なら37℃でも1週間安定、溶解後は20℃で1時間後には50%力価が低下、37℃1時間で完全に失活する。光線に弱く冷暗所の保管が必要。通常皮下接種だが筋注も可。 ワクチン接種年齢:途上国では1歳前の麻疹が問題であり生後9ヵ月で接種。ただし母体由来の抗体の存在で抗体陽転率が80-85%と先進国で1歳すぎの接種の場合の98%にも及ぶ陽転率よりやや低くなる。6ヵ月以前では抗体獲得が非常に低い。2回法として小学校入学時などに追加接種している地区が多いが流行情況によっては初回接種後1ヵ月で追加接種も考えられる(免疫獲得を確実にするため)。 副反応:接種7~12日後、1~2日間の39℃以下の発熱(熱性痙攣が3,000接種で1)、軽い発疹が2%にみられ血小板減少症が3万接種で1、アナフィラキシ - 症状が2万~10万接種で1、という報告があり、卵アレルギー - やワクチンに対するアレルギー - は無関係であった。脳炎などの中枢神経計の合併症報道も1994年の米合衆国の専門家委員会では疫学的には間違いであるとされている。SSPEはワクチン普及とともに減少している。 禁忌事項:特に禁忌となる状態が特定されないで、全ての小児に接種されるべきワクチンである。HIV感染者の麻疹が重症化することから、HIV陽生児は無症状の間にワクチン接種実施が望ましい。 有効性と安全性、発生状況からワクチン普及運動をさらに進展したい。

3月26日 - 4月1日届出。コレラ:ベニン、カメルーン、マリ、ニジェール、ウガンダ、トゴ。



愛知県感染症情報

2004年第16週(平成16年4月12日～4月18日)

愛知県衛生研究所

	定点数					RSウイルス感染症	鳥インフルエンザ(高病原性を除く。)	インフルエンザ(高病原性を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																						
<b>愛知県 (名古屋市を含む)</b>	195	182	35	51	13	3	114	85	265	787	281	19	102	141	7	3	13	1	220	1	33	0	0	6	0	0	
<b>総数 (名古屋市は除く)</b>	125	112	24	37	12	2	105	56	183	519	214	17	81	109	5	0	10	1	189	0	25	0	0	6	0	0	
名古屋名古屋市	70	70	11	14	1	1	9	29	82	268	67	2	21	32	2	3	3		31	1	8						
尾張東部瀬戸	9	9	2	3	1		9	2	34	32	8	1	6	6					2		1						
海部津島津島	7	7	2	2	1		6	1	8	62	21		6	7			1		13		1			1			
尾張中部師勝	4	4	1	1					2	20	6		3														
尾張西部一宮	16	12	3	4	1		1	7	26	53	9	14	1	9					12		2						
尾張北部春日井	9	9	2	3	1		13	12	26	53	18		8	8	1				21		1						
	江南	6	6	1	2		6	5	9	51	16	1	2	7	1			1	14		1						
知多半島半田	6	6	1	2	1				5	12	8		6	4					5								
	知多	7	7	2	2		2	7	3	46	24		14	10			2		24		2						
西三河南部岡崎市	11	7	2	2	1		1	3	17	4	30			24					24		2						
	衣浦東部	11	11	2	4	1	1	8	1	23	24		6	11					25		1						
	西尾	5	5	1	2	1	1	1	5	24	8		14	1			1		7		1						
西三河北部豊田市	8	8	2	3	1		25	2	9	49	10	1	5	6	3				16		7			1			
	加茂	3	3		1				3	6	4		5						2								
東三河南部豊橋市	12	8	2	4	1		29	5	17	53	11		3	8			5		14		3						
	豊川	9	8	1	2	1	4	11	8	31	17		2	8			1		9		3			4			
東三河北部新城	2	2			1														1								





愛知県感染症情報

2004年第1週～第16週(平成15年12月29日～平成16年4月18日)(累計)

愛知県衛生研究所

	定点数					RSウイルス感染症	インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎*	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県 (名古屋市を含む)	195	182	35	51	13	182	36,824	770	3,622	19,648	5,467	132	1,052	1,672	31	43	62	27	2,442	12	515	5	4	75	0	0
愛知県 総数 (名古屋市は除く)	125	112	24	37	12	158	29,281	622	2,696	13,801	4,496	114	824	1,353	26	18	51	27	2,100	8	449	5	4	73	0	0
名古屋	70	70	11	14	1	24	7,543	148	926	5,847	971	18	228	319	5	25	11		342	4	66			2		
尾張東部	9	9	2	3	1	28	1,836	54	303	709	218	2	65	84	7		4	1	62	1	5			1		
海部津島	7	7	2	2	1		2,036	10	86	1,553	334	2	24	50					63		13			25		
尾張中部	4	4	1	1			1,002		29	613	68	1	15	20					16		2					
尾張西部	16	12	3	4	1	4	2,119	63	294	1,331	434	66	16	135		1	1	1	121		10	1		1		
尾張北部	9	9	2	3	1	13	2,820	155	334	977	406	6	117	128	1		3		323		15	1	3			
	6	6	1	2			1,101	41	334	1,124	287	4	50	83	1	1		1	100		28					
知多半島	6	6	1	2	1	5	1,057	11	162	478	113	4	51	77				1	80		1			4		
	7	7	2	2		27	1,699	41	103	1,332	389	2	121	111			4		208	2	9					
西三河南部	11	7	2	2	1	4	1,941	29	240	340	490	1	49	153	4	3	3	3	211	1	30					
	11	11	2	4	1	1	3,189	49	235	875	413	9	49	137	1			1	491		19			5		
	5	5	1	2	1	2	860	12	78	547	168		57	53			4	6	163		19					
西三河北部	8	8	2	3	1	50	2,912	64	130	1,413	386	9	83	106	11	12	1	2	168		247		1	4		
	3	3		1		2	414	15	38	296	52	2	13	18					9							
東三河南部	12	8	2	4	1	3	4,172	37	210	1,441	353	4	21	112	1		22	10	47		32	3		19		
	9	8	1	2	1	19	1,960	41	119	750	366	1	92	78		1	6	1	29	4	19			14		
東三河北部	2	2			1		163		1	22	19	1	1	8					9							

\* 衣浦東部保健所から10、11、13週分(各1件)の追加報告あり

愛知県感染症情報

2004年第1週～第16週(平成15年12月29日～平成16年4月18日)(累計)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	RSウイルス感染症	インフルエンザ(高病原性鳥を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎*	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
計	158	29,281	622	2,696	13,801	4,496	114	824	1,353	26	18	51	27	2,100	8	449	5	4	73	0	0
～6ヶ月	62	273	3	9	169	119	8	4	93	8						9					
～12ヶ月	51	612	16	13	887	285	10	18	816	6	2	3	4	13		6					
0歳																	3				
1歳	30	2,078	98	60	2,159	861	24	35	406		4	18	6	86		22			2		
2歳	5	1,933	116	131	1,458	740	20	63	31		1	9	2	170		16			5		
3歳	5	2,096	92	268	1,397	739	15	72	4	2		3	1	265		20			5		
4歳	1	2,513	91	550	1,292	800	13	134	1	1	1	5	5	421		31			8		
5歳	4	1,723	74	565	1,051	449	7	182		1			2	436		20					
6歳		1,327	30	376	710	241	6	115	1	2		4	2	234		11					
7歳		1,101	31	246	617	105	4	62	1			4	1	140		6					
8歳		961	20	136	457	60	3	53				1	1	119		2					
9歳		1,051	15	98	391	24	2	30			1	1		78		4					
5歳～9歳																			28		
10歳～14歳		4,266	20	137	890	43	2	40				3	2	79		6		1	14		
15歳～19歳		1,952		13	283	3		1					1	10		5			1		
20歳～			16	94	2,040	27		15		6	9			49			2				
20歳～29歳		2,450													2	55		3	1		
30歳～39歳		2,388													1	125			3		
40歳～49歳		1,045													2	22			1		
50歳～59歳		619													2	32					
60歳～69歳		450														33			4		
70歳～															1	24					
70歳～79歳		262																	1		
80歳以上		181																			

\* 衣浦東部保健所から10、11、13週分(各1件)の追加報告あり